

大切ないのちをまもるため地域とともに
安全・安心の医療・介護を創り出そう

保育あり

第32回愛知医療研究集会

とき 2014年5月25日(日)
10時(9時30分～受付)～16時30分

会場 愛知労働会館東館ホール
名古屋市熱田区沢下町9-3 (金山駅から徒歩10分)

参加費 500円(資料代)
※どなたでも参加できます
※お弁当(お茶つき)1000円 ※別途申し込みが必要

オープニング 声を聞いて～さよなら原発のテーマ～

記念講演 10時40分～

「福島から、あなたへ」

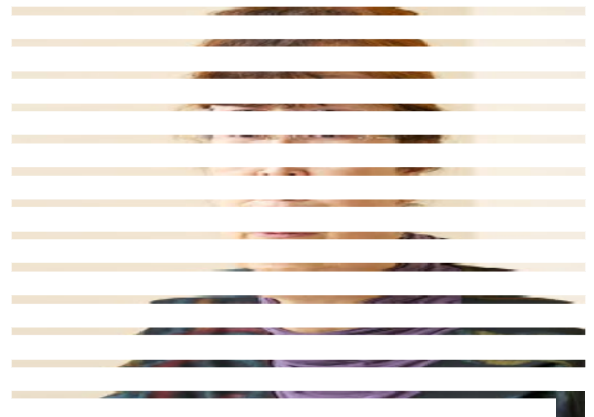
分科会 13時30分～16時30分(詳しくは裏面)

オープニング マチルダマーチ

サンバやボサなどブラジル音楽のエッセンスを取り入れたアコースティックミュージック。2013年に活動拠点を東京から愛知へ「なくそう原発市民の会」と共に反原発ソング「声を聞いて～さよなら原発のテーマ～」を制作

ホームページ <http://matildamarch.com/>

お申し込み/愛知県医療介護福祉労働組合連合会
TEL(052)883-6955 FAX(052)883-6956
Email/irouren@roren.net HP/<http://www.aichi-irouren.jp/>
主催/第32回愛知県医療研究集会実行委員会



記念講演 武藤 類子さん

1953年福島県生まれ。福島県三春町在住。和光大学卒業、版下職人、養護学校教員を経て、2003年に里山喫茶「燦(きらら)」を開店。チェルノブイリ原発事故を機に反原発運動にかかわる。現在「ヒロアクション福島」事務局、福島原発告訴団団長。著書に「福島からあなたへ」(大月書店)がある。

「私たち福島県民は、故郷を離れる者も、福島の地にとどまり生きる者も苦悩と責任と希望をわかちあい、支えあって生きていこうと思っています。私たちとつながって下さい。・・・原発をなお進めようとする力が垂直にそびえる壁ならば、限りなく横に広がり、つながりつづけていくことが私たちの力です。(著書より)



<p>第① 看護分科会 厚労省6局長通知が出され、看護師の勤務環境改善は機運が高まっています。一方で医療行為を拡大する特定看護師が問題となっています。これ以上の長時間夜勤・過重労働が進めば医療の質と安全は守れません。今回、日本医労連看護対策委員の三浦書記次長をお招きし、特定看護師問題と看護労働改善について学び交流を深めます。</p>	<p>第⑤ 介護分科会 地域で看取る在宅完結型の制度が、医療・介護制度に反映され、入院期間の短縮化や在宅復帰に向けた連携支援に移行します。認知症や慢性疾患の看取りを施設や在宅で行えるよう介護職の吸引等も解禁、重要度が増す地域医療支援制度への対応を介護関係者がどう連動していくのか、日頃の事例や取組みの中に今後の介護現場の課題を模索しながら交流を深めます。</p>
<p>第② 臨床検査分科会 医療の進歩や、病院・検査室のシステム化と共に、臨床検査の役割は、検査の迅速化・24時間体制のみならず、採血・チーム医療・臨床支援への参加と検査の付加価値が求められています。「検査からのアピール」をテーマに情報交換と交流を行います。</p>	<p>第⑥ リハビリテーション分科会 医療・介護・福祉の領域でリハビリのニーズは高まり、私たちの働き方に変化がおきています。今回、帝京科学大学医療科学部准教授 眞鍋克博先生（理学療法士）をお招きしミニ講演を頂くとともに情報交換やリハビリの実践交流を行います。</p>
<p>第③ 院内保育分科会 院内保育所は需要の高まりと共に労働環境の変化で課題は山積しています。院内保育所は保護者の労働を支え、子どもを守ることに全力を注いでいます。自分らしく輝く保育実践、よりよい院内保育所に向けて交流を深めます。体を動かすリフレッシュ企画も行います。</p>	<p>第⑦ 給食分科会 病院給食や介護施設の給食は高度化・高齢化が進む中、複雑多岐にわたっています。治療食・介護職・嚥下訓練食、アレルギー食やNST活動等の重責を担っています。日常の様々な工夫や改善点など、それぞれの経験をレポート報告し学習・交流を深めます。</p>
<p>第④ 精神医療・保健・福祉分科会 精神疾患は医療法の医療計画に新たに加えられた重要な国民的疾患です。都道府県医療計画が策定され精神医療は新たな展開が期待されます。医療計画のポイントは「地域連携」精神障害者分野における地域連携の大切さについて実践と交流を深めます。</p>	<p>第⑧ 放射線分科会 福島第一原発による放射能汚染の被害は未だ収束していないなか、がれき処理、風評被害など、放射能被害に関する情報が交錯しています。私たち医療労働者が放射線と被曝（内部被ばく含む）についての正しい知識を身につけることが求められています。被ばく問題に詳しい講師をお呼びして、学習と交流を深めます。</p>
<p>第⑨ 地域医療分科会 愛知県は昨年3月に「愛知県地域保健医療計画」の見直しを行いました。「5疾病、5事業」を中心に県の地域医療はどうなるのでしょうか。また、その計画を実現するためのマンパワー対策も検討されています。一方で個別の医療機関はそれぞれの経営理念に基づき将来計画を検討しており、県全体の保健医療計画との整合性も課題になっています。本分科会では参加者よりそれぞれの医療機関の現状を出し合い、地域保健医療計画の全体像を学ぶ中で、地域医療の拡充強化にむけた交流を深めます。</p>	

参加申込み FAX・メールでお申し込み下さい。事前申込み〆切：2014年5月20日(火)

FAX 052-883-6956 メール irouren@roren.net

参加者名	氏名（ ） 組合又は事業所名（ ） 電話（ ） メールアドレス（ ）
記念講演	①参加する ②参加しない
分科会	①看護 ②検査 ③保育 ④精神 ⑤介護 ⑥リハ ⑦給食 ⑧放射線 ⑨地域医療
職種	①医師 ②看護師 ③介護職 ④技術職（PT・OT・ST・検査・XP・SW） ⑤保育士 ⑥事務職 ⑦その他（ ）
お弁当／保育	お弁当 ①必要 ②不要 / 保育 ①必要（子供 才） ②不要